

●管路施設調査の内容

管路施設調査では、調査員がマンホールに入孔するか、地上からカメラを挿入し、マンホール構造や管口部の確認を行う。調査エビデンスとして、調査1箇所につき数枚程度の写真撮影を行う。また、施設の顕著な劣化が認められるなど、別途報告の必要がある場合はその不良ごとに写真撮影を行う。管口部の調査は、管口部の耐震状況や接続管渠の管種確認等を行う。

なお、ガス検知器により硫化水素の発生等が確認される場合は、マンホール内には入孔しない。

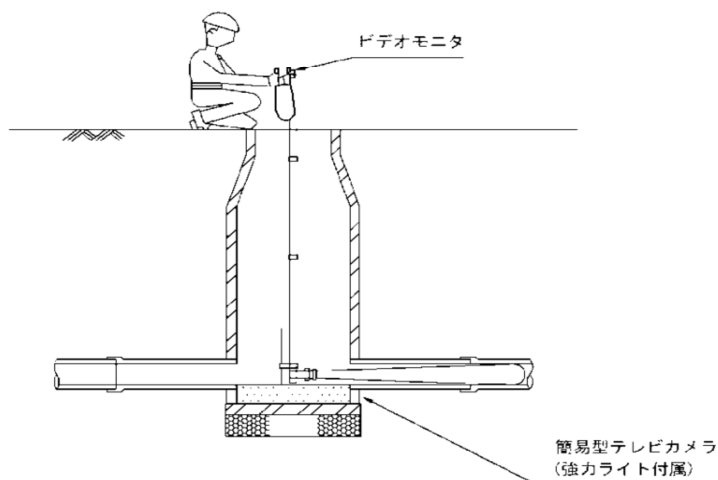


図1 カメラによる調査状況図

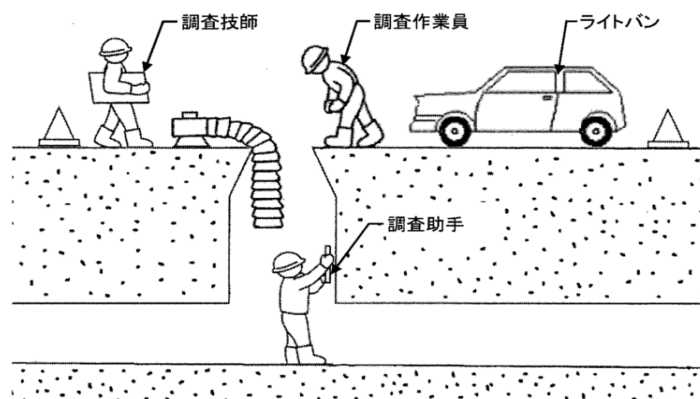


図2 目視による調査状況図